

優良建設工事の土木事務所長表彰実施要領

第1 (目的)

この要領は、高知県土木部が発注した建設工事について、施工技術・管理等に優れ、工事成績が優秀であった施工者等を表彰することにより、技術力及び意欲の更なる向上を図るとともに、当該施工者等の社会的評価を高め、建設産業の振興に資することを目的とする。

第2 (表彰)

表彰は、前年度に完成した安芸土木事務所、中央東土木事務所、高知土木事務所、中央西土木事務所、須崎土木事務所及び幡多土木事務所が所管した工事のうち、優れた成績を収めた施工者等を対象に、当該土木事務所長が年1回行うものとする。

2 表彰の種類は、各土木事務所ごとに「所長賞」、「一工事賞」、「二工事賞」、「三工事賞」の4種類とする。

3 表彰の対象者は、「所長賞」においては企業、現場代理人、主任技術者または監理技術者とし、「一工事賞」、「二工事賞」、「三工事賞」においては、企業のみとする。

第3 (表彰基準)

表彰は、前年度の完成検査に合格した当初請負金額が500万円以上の建設工事について、工事成績評定が優秀であったものの中から、別に定める選考基準により選考して行うものとする。

第4 (表彰効力の失効)

表彰の受賞日以降に次のいずれかに該当した場合は、表彰の効力が失効するものとする。

(1) 受賞工事又は受賞企業が次の各号のいずれかに該当することとなった場合。

この場合は、現場代理人、主任技術者等に対する表彰も効力を失うものとする。

- ① 受賞工事の工事成績評定が高知県建設工事成績評定要綱第10条(評定の修正等)による修正で、所長賞においては、80点未満となったとき。一工事賞、二工事賞、三工事賞においては、75点未満となったとき。
- ② 表彰実施年度の表彰日以降、当該年度末までに受賞企業が別に定める選

考基準の第2（3）②から⑤のいずれかに該当することが判明した場合。

③ 受賞工事において、粗雑が発覚し処分を受けた場合。

④ 受賞工事において、当該工事が原因の事故が発覚し処分を受けた場合。

(2) 過去に「所長賞」を受賞した企業において、過失による粗雑工事（重大な瑕疵）、工事が原因での事故、贈賄、独占禁止法違反、競売入札妨害、談合、高知県暴力団排除条例違反及びその他表彰の効力を失うに十分な理由があるもの（以下「不正行為等」という。）が認定され、その処分（指名停止4月以上の期間）を受けた場合。

この場合、失効の対象は、平成27年度以降の受賞工事とする。

(3) その他表彰の効力を失うに十分な理由がある場合。

第5 （その他）

(1) 土木事務所長表彰は、対象となる施工者に表彰受諾について事前に意思を確認し、表彰受諾の意思があるものに対して行うものとする。

(2) 土木事務所は、受賞した全ての工事について事務所のホームページに掲載するものとする。

附則

この要領は、平成23年12月1日から施行する。

この要領は、平成27年1月20日から施行する。

この要領は、平成28年5月11日から施行する。